

国見岳風力発電所および輪島風力発電所の風車破損事故に係る 報告書(最終)の提出について

平成26年6月30日
北陸電力株式会社

当社国見岳風力発電所(福井県福井市奥平町、出力900kW×2基)の2号機火災(平成25年12月1日および同年12月26日お知らせ済み)および輪島風力発電所(石川県輪島市房田町 出力600kW×5基)の2号機の風車破損(平成26年3月7日お知らせ済み)につきまして、本日、経済産業省北陸産業保安監督署に事故報告書(最終)を提出いたしました。

火災および風車破損の原因については、風車への落雷によるものと推定しております。今後、当社の同形風車につきましては、再発防止対策を実施してまいります。

【事故報告書(最終)の概要】

<国見岳風力発電所2号機>

1. 火災発生の原因(推定)

- ・落雷により風車内の油圧装置が損傷し、油漏れが発生。その後、新たな落雷により発生したアーク(放電)が、漏れた油に着火したことが火災の原因と推定。

なお、国見岳風力発電所は平成26年4月1日付けで廃止し、設備の撤去も完了しています。

<輪島風力発電所2号機>

1. 風車破損事故発生の原因(推定)

- ・運転開始以来の、複数回の大きな落雷により、風車の羽根先端部の避雷針の役目をする部品の接続部に損傷が発生していた。その後、新たな落雷により、接続部でアーク(放電)が発生し、羽根先端部が損傷して裂け目ができ、損傷した状態で運転を継続したことにより、羽根先端部の裂け目が進展し、避雷針の役目をする部品が羽根から脱落したものと推定。

2. 再発防止対策(公衆災害のリスクを低減する対策)

[発雷、落雷時の運転停止、安全点検の実施]

- ・発雷を検出する装置を設置し、発雷時は風車を停止させ、落雷した風車は設備に異常がないことを確認した後、運転を再開する。
- ・冬季雷時期後に、羽根および風車の避雷針の役目をする部品の点検を実施。

[火災防止対策]（今冬までに実施予定）

- ・ 風車内の油圧装置が雷電流の経路にならないよう、設備の改修を実施。

以 上